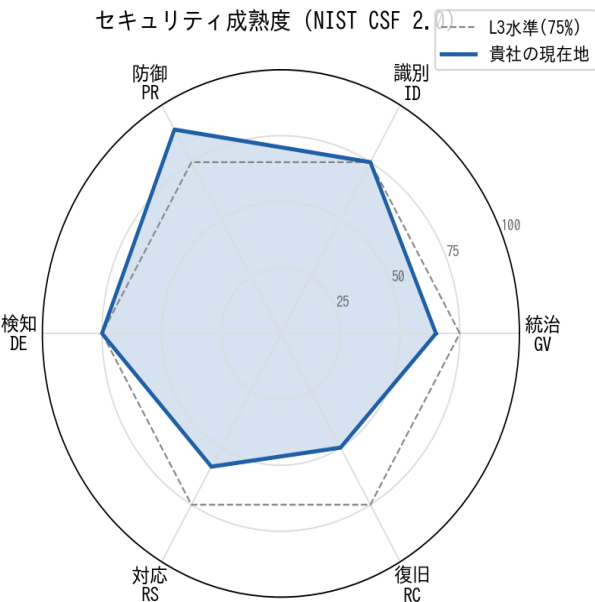


セキュリティ投資判断レポート <経営サマリー>

グロースネクスト株式会社(IPO準備) | 2026Q3 | 診断基準: NIST CSF 2.0・ITGC観点

グロースネクスト株式会社の2026Q3セキュリティ診断において、総合スコアは68.77%、自走度は77.27%という結果となりました。防御（PR）領域は89.29%と高い成熟度を示している一方、復旧（RC）50%・対応（RS）58.33%・統治（GV）65%の3領域がIPO審査において重点強化が求められる水準にあります。J-SOX対応の観点では、ITGC必須ドメインのうち「運用管理」がL2・最優先と評価されており、上場申請までの限られた期間内に集中的な整備が必要です。



投資の正当化: 2つの時間軸

【IPO準備（短期）】
J-SOX/ITGC整備に向けた明確な締切と優先度があります。

【中長期：事業成長】
セキュリティ成熟度の継続的な向上が、将来の取引先・顧客要件への対応力を高め、受注競争力に育ちます。

J-SOX/ITGC整備に向けた明確な締切と優先度がある中、特にIPO必須ドメインである「運用管理（L2・最優先）」の早期引き上げが上場審査への備えとして最重要課題です。復旧（RC）50%・対応（RS）58.33%という結果はこのドメインの課題を直接反映しており、監査法人への証拠提示を見据えた計画的な整備推進が求められます。

ITGC観点 (IPO準備度) — 審査で問われる主要領域

※ セキュリティ成熟度スコアと審査の可否は直結しません。下記は準備の目安です（最終的な要求水準は監査法人の判断によります）。

ITGC領域	現在地	準備度の目安
アクセス管理	L4 — 最適化	おおむね充足
資産管理	L3 — 整備済み	引き上げ対象
変更管理	L3 — 整備済み	引き上げ対象
運用管理	L2 — 部分対応	最優先
統制環境	L2 — 部分対応	最優先

これらの現状を踏まえた具体的な改善施策は、後述の「経営の意思決定事項」に整理しています。

セキュリティ投資判断ROIサマリー ※すべて想定値・前提依存レンジ推定

対策なし時の想定最大損失：3.6億円～16.4億円

JCICサイバーリスク数値化モデルに基づく想定（事業停止損失・法的制裁金・インシデント対応費用＋保有個人データ件数に応じた想定損害賠償額）。幅は保有個人データ件数の業界平均レンジ（下限～上限）の違いによるもので、他の算定要素は下限・上限で同一です。

ROI区分	想定インパクト(年間)
攻めROI（受注機会拡大）	2700万円～6900万円/年
守りROI（損失削減・改善分）	280万円～1268万円/年
効率ROI（工数削減）	197万円/年
合計	3177万円～8365万円/年

※ 守りROIは「改善により実際に削減できる損失額」のみ計上（最大損失・現状リスクは上行参照）

SecuROI投資額：年22万円（税込）で、四半期ごとの診断・ROI可視化・IPO準備の進捗管理ができます。

参考：守りROI（業界平均ベースの想定値）は投資額を上回る水準ですが、実際の効果は貴社の状況（保有データ量・事業規模等）により大きく異なります。日本企業の約半数は年1千万～5千万円を投資（経産省/IPA調査）しており、SecuROIは其中で診断・ROI可視化を年22万円（税込）で担います。

※ 本レポートのROIは2026-07-13生成時点（2026Q3・診断スコア68.77%）の診断・施策状況に基づく試算です。すべて前提依存のレンジ推定。最新の施策状況はダッシュボードでご確認いただけます。

出典：JCICサイバーリスク数値化モデル2022 / JNSA J0モデル / 経産省・IPA「企業のCISOやCSIRTに関する実態調査2017」（従業員300人以上・N=755）

経営の意思決定事項（次の一手）

※ 初回診断時に確定し、以降の四半期を通じて継続管理する改善計画です（ステータスはダッシュボードで随時更新）。四半期ごとのトレンドレポートに記載の「次の一手」（その時点の診断結果に基づくAI提案）とは別の一覧です。

1. ログ監視・インシデント対応態勢の構築：手順書整備と対応訓練の実施 [関連設問：Q7・Q8・Q9・Q19]
2. 変更管理手順の確立：J-SOX ITGCに準拠した承認・テスト・記録の文書化 [進行中] [関連設問：Q3・IPO-Q1・IPO-Q2]
3. セキュリティ規程とガバナンス体制の整備：責任体制・リスク管理の明文化 [関連設問：Q11・Q12・Q13]
4. アクセス管理の整備：退職者アカウント停止手順とMFA全社適用 [進行中] [関連設問：Q1・Q2]
5. バックアップ・復旧テストの制度化：重要データ保護と証跡保全の整備 [関連設問：Q20・Q18]

※最終的な要求水準・適用範囲は監査法人の判断によります。

本スコアは較正中の相対指標であり、価値は単発の絶対値でなく四半期ごとの推移にあります。